

# 「副会長って、どんな人？」

～編集部がインタビューしました～

## インタビュー相手

副会長 佐藤 郁美 (42期)

●Ikumi Sato



**Q** 副会長になってみて、改めてご感想は？

**A** いろいろな委員会に所属している先生方が、とても一生懸命に委員会活動をしていることに感動しました。事務局も頑張っていて、本当にたくさんの方がかかわって二弁が回っているということが、執行部に入って初めて分かりました。

**Q** ご経歴は？

**A** 修習を終えて、まず、東弁の一般民事の事務所に2年間勤めました。同期の弁護士の夫がシカゴに留学することになったので、一緒について行き、翌年、ニューヨークに引っ越して、ニューヨーク大学ロー・スクール (M.C.J (比較法学修士)) に1年間通いました。さらに、ロンドンに渡り、法律事務所にてトレ

ーニーとして9か月間勤務した後、夫と一緒に日本に帰国しました。

帰国後は、ITや知財を扱う三木・吉田法律特許事務所に所属し、そのときに2人の娘を出産しました。長女のときは、出産して2か月で、次女は年子でしたが、出産後3か月ほどで職場に復帰することになったと思います。当時はITバブルのころで、忙しかったです。

子どもたちが小学校に入り、勉強したくなったので、早稲田大学の大学院で知財を学びました。そのころから独禁法に興味を持つようになり、2006年から5年間、任期付公務員で、公正取引委員会の審判官を務めました。その後、いったん元の事務所に戻りましたが、身に付けた独禁法の知識を活かすために現在の矢吹法律事務所に移籍し、現在に至ります。

**Q** シカゴ、ニューヨーク、ロンドンの中で、一番楽しかったのはどこ？

**A** シカゴです。夫が留学したシカゴ大学の近くに住んでいたのですが、そこが治安の悪いエリアで、買い物にも1人で行くと言われていたほどでした。自動車強盗も

多く、通るルートにも気を遣いました。出かけるときは、地元にとけ込むように、少し汚い格好をしたりして、1人で買い物してました。

**Q** それがどうして楽しかったのですか？

**A** そういう非常にアメリカらしい体験ができたからです (笑)。

**Q** ご出身は？

**A** 横須賀生まれ、広島育ちです。父が海上自衛隊にいたので、呉や江田島にいました。高校、大学時代は横浜で過ごしました。実務修習地も横浜です。

**Q** 家族構成は？

**A** 同期の弁護士の夫と大学生の娘が2人、それからトイプードルの「バニラ」です。

**Q** 副会長になることについて、ご主人は何か言っていましたか？

**A** 「よくやるね。せっかく子どもも手を離れてラクになれたのに」と (笑)。

**Q** 血液型は？

**A** O型。

**Q** 尊敬する人物は？

**A** 我が家の愛犬バニラかな。自然体のところがいい。…人物じゃないけど (笑)。

**Q** 学生時代にやってい

たスポーツは？

**A** バドミントンです。高校では、県下の強豪校に入りました。たくさんの入部希望者の中で、最後の3人に残ったのですが、ほかの2人は私と次元が違ったし、練習もきつくて、私はすぐに辞めてしまいました。残った内の1人は、なんとプロ野球の大谷翔平選手のお母さんです。

**Q** 弁護士になったきっかけは？

**A** 高校時代は体育の先生になりたかったのですが、バドミントン部を辞めたこともあって、それも無理だと悟り、取りあえず大学では法学部に入りました。そうしたら周りがみんな司法試験をやっ

ているので、自然に自分もこの道に進みました。

**Q** 長所、短所は？

**A** 長所は、明るいこと。短所は、海外生活をしていたのに英語が苦手なことです(笑)。留学等を考えている方には、英語が苦手でも意外と何とかなると伝えたいです。

**Q** 怖いものは？

**A** バニラが死ぬことです。そろそろ11歳なので。

**Q** もしあと1週間しか生きられないとしたら何をしますか？

**A** 旅行に行きたいですね。場所は分かりませんが、自然がいっぱいあるところがいいです。

**Q** 若手会員にひとこと

お願いします。

**A** 弁護士の仕事はいろいろあるということ。「これしかない」と思い込んでウツウツとせず、いろんな生き方があることを考えてみてほしい。自分の道を、自分で考えて進んでいってください。■

**Reliability**  
信頼性

その源は、1900年の創立以来、印刷と情報コミュニケーション産業のリーダーとして走り続ける凸版印刷株式会社の子カラ。私たちはそのグループの一員として、お客様の信頼と期待にお応えします。

**Creativity**  
創造力

企業のニーズと一般消費者のニーズを結ぶ多彩なクリエイティブ活動。私たちは、これまで培って来たノウハウとテクノロジーを駆使して、お客様の事業戦略を成功に導くための創造力を発揮します。

**Productivity**  
生産性

期待の製品をいち早く市場に送り出すために不可欠な製造力。私たちは茨城県水戸市に工場を有し、徹底した品質管理のもとで創られた製品をリリースしています。

# TOPPAN

## 企画から制作・印刷・製造まで、 トータルに対応する トッパンプロスプリント。

お客様のの中に生まれるさまざまな事業展開。その推進を強力にサポートするのが、私たちの総合力です。トッパン プロスプリントでは、各種の企画立案から、それを具体化するツール群の制作、さらにこれらの迅速かつ高品質な製造までトータルに対応。ワンストップな体制は、お客様の意見を各工程に直接反映しながら、よりスピーディーな事業展開をお手伝いします。

<http://www.toppan-pp.co.jp/>

株式会社トッパン プロスプリント **TOPPAN PROSPRINT** ■ 本社 東京都江東区越中島3-5-6 〒135-0044 ■お問い合わせ TEL:(03) 5646-6222